

まえがき

本研究資料は、平成 27～29 年度のプロジェクト研究『人口減少・高齢化，新たな農業政策下における農業・農村構造の変化と農業生産主体のあり方に関する研究』の中で行った，2015 年農業センサス分析に係る研究成果を取りまとめたものである。

当研究所では，これまで 5 年ごとに全国一斉に行われる農業経営体（農家等）の悉皆調査である農業センサスの結果が公表される度に，総合的な分析を行い，我が国農業・農村構造の現状とその動向を明らかにしてきた。

今回の 2015 年農業センサスでは，「水田・畑作経営所得安定対策」の導入によって水田農業構造が大きく動き出した前回の 2010 年農業センサス以降，各地域の農業構造，とりわけ水田農業構造がどのように展開してきたのか，その動態を明らかにすることが求められている。そして，このことは，今後の我が国の農業・農村を展望していく上でも重要な意味を持つものである。

このため，当研究所では，若手研究員を主体とする 10 数名での分析チームを編成し，現段階での農業・農村構造問題の所在を的確に捉え，速やかに行政及び研究の両面に提起することを目的に，農林水産省統計部センサス統計室からのデータ提供を受け，総合的な農業センサス分析の作業を進めてきた。

今回の総合分析における特徴は，これまでの農業センサス分析ではあまり取り上げられなかった，女性農業労働力や農業生産関連事業に関する分野等の分析にもチャレンジしていることである。しかし，限られた人員，期間での作業であったため，すべての課題に対応しきれてはならず，我が国の農業・農村構造問題を全領域にわたってカバーするには至っていない。また，各章で取り上げたそれぞれの課題に対する分析も，個票を積極的に活用し，独自の組替集計を行う等，意欲的に分析に取り組んでいるものの，必ずしも十分な分析がし尽くされているわけではなく，残された課題も多い。関係諸賢の忌憚のない御批判と御教示をお願いしたい。

なお，最後に，農業センサスデータの提供に便宜を図っていただいた農林水産省統計部センサス統計室の皆様に，深く感謝申し上げる次第である。

平成 30 年 12 月

農林水産政策研究所
農業・農村構造プロジェクト
センサス分析チーム